

クマの事故を防ごう！

クマは基本的には人を避ける動物です。しかし、突発的に出会うと防御的な攻撃を招き、危険な場合があります。このため、山などクマ生息地での行動や、人間の生活域へクマを寄せつけない環境整備が重要です。山などでは、クマに出会わないようにすることが重要です。

山などのクマの生息地で事故に遭わないために

○クマと出会わないために

- ☐ 自分の存在を知らせる。
 - ・クマ鈴やラジオなど、音の出るものを携帯しましょう。
 - ・見通しの悪い場所や、沢沿いなどの音が聞き取りにくいところは、声を出したり手を叩くなど存在を知らせましょう。
- ☐ クマの生態や行動についてよく知る。
 - ・山菜のとれる季節はクマも餌を求めて活発に動き回ります。できるだけ山へ入る際は2人以上で。
- ☐ 目撃・出没情報のあったところには近づかない。
 - ・クマの目撃情報等は無線放送やケーブルテレビなどで随時放送します。
- ☐ クマの新しい痕跡(糞、食痕、爪痕など)があった際は、近くにいる可能性があるので引き返す。
- ☐ 春と秋は事故も多くなる傾向にあり、特に朝や夕方の行動はできるだけ避ける。

○クマ出会ってしまったら・・・まずは落ち着きましょう！

- ☐ クマとの距離が離れている場合 《ゆっくりと静かに立ち去る。》
- ☐ 比較的距離が近い場合《クマがパニックになり突発的に攻撃をする可能性があるため、刺激しないよう走ったり大声を出したりせず、クマから目を離さずにゆっくり静かに後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えクマとの間に障害物がくるようにする。》
- ☐ 子グマの近くには親グマがいる可能性があり要注意！



人間の生活域で被害に遭わないために

○周辺環境のチェック！

- ☐ 放任果樹、廃棄農作物、生ごみなどはクマの餌となるので除去。
- ☐ 農耕地等への電気柵等の設置と適正な管理。
- ☐ クマの集落周辺への侵入や一時的な定着を防止するための耕作放棄地等の整備や藪の刈り払いなど。



☆クマを目撃した方は、世羅町産業振興課又は世羅警察署にご連絡ください。

世羅町産業振興課 鳥獣被害対策係 ☎22-5304